



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月7日

上場会社名 コムシスホールディングス株式会社
 コード番号 1721 URL <http://www.comsys-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 加賀谷 卓
 (氏名) 尾崎 秀彦
 TEL 03-3448-7000

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	111,906	36.0	4,976	23.1	5,511	29.7	3,509	26.0
2019年3月期第1四半期	82,270	28.7	4,043	15.7	4,248	16.0	2,785	6.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 2,767百万円 (△18.2%) 2019年3月期第1四半期 3,383百万円 (4.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	27.20	27.12
2019年3月期第1四半期	24.33	24.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	415,987	300,609	71.6
2019年3月期	439,926	301,459	67.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 297,653百万円 2019年3月期 298,373百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	35.00	—	40.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	230,000	29.3	11,500	4.8	11,700	4.2	7,500	5.2	58.27
通期	540,000	12.1	38,000	7.7	38,500	6.7	25,500	△9.0	198.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	141,000,000 株	2019年3月期	141,000,000 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	12,139,389 株	2019年3月期	12,299,356 株
------------	--------------	----------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	129,018,696 株	2019年3月期1Q	114,471,349 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境、企業収益の改善が続くなかで各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、米中間の貿易摩擦による世界経済への影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要があります。

コムシスグループを取り巻く情報通信分野におきましては、通信事業者間のサービス競争が激化する中、コンテンツ等の付加価値サービスが拡大しており、急増する大容量のトラフィックに対応するためモバイルネットワークの高度化が進められています。また、公共・民間分野におきましては、激甚化する自然災害に備えた防災・減災対策等の国土強靱化施策、再生可能エネルギー政策、東京オリンピック・パラリンピック開催等による社会インフラ投資や、IoT、AI（人工知能）、5G（第5世代移動通信）など新たなイノベーションを活用したICT投資の拡大が期待されております。

コムシスグループといたしましては、太陽光発電設備工事やバイオマス発電設備工事をはじめとした再生可能エネルギー事業や、スマート社会に向けた公共投資・ICT投資の増加に対応した新たな事業領域へのチャレンジ及びM&Aの実施等トップラインの拡大に取り組んでまいりました。また、統合シナジーの早期創出を目指すとともに、成長事業分野への要員流動や、働き方改革の推進により施工効率の向上及び経費削減等の利益改善にも努めてまいりました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高1,396億5千万円（前年同期比42.9%増）、売上高1,119億円（前年同期比36.0%増）となりました。また、損益につきましては、営業利益49億7千万円（前年同期比23.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益35億円（前年同期比26.0%増）となりました。

【グループ別の受注高・売上高・セグメント利益又は損失[営業利益又は損失]】

(単位：百万円)

報告セグメント	受注高		売上高		セグメント利益 又は損失(△) [営業利益又は損失(△)]	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本コムシスグループ	70,480	11.4%	55,435	3.1%	2,414	△10.5%
サンワコムシス エンジニアリンググループ	11,675	△3.1%	11,328	5.7%	988	85.4%
TOSYSグループ	7,973	29.8%	4,495	△12.8%	△11	—
つうけんグループ	13,631	7.7%	10,253	4.4%	564	112.7%
NDSグループ	20,630	—	18,898	—	579	—
SYSKENグループ	7,384	—	5,634	—	△49	—
北陸電話工事グループ	3,412	—	2,936	—	58	—
コムシス情報システムグループ	4,050	26.7%	2,506	5.2%	267	6.4%

(注) 1 「受注高」及び「売上高」は外部顧客への取引高を記載しております。なお、「セグメント利益又は損失(△)」は当社及びセグメント間取引により生じた利益を含んでおります。

2 2018年10月1日付で、NDS株式会社、株式会社SYSKEN、北陸電話工事株式会社の3社を株式交換により当社の完全子会社としております。この結果、セグメント情報において、前第3四半期連結会計期間より同3社及び同3社の子会社を「NDSグループ」「SYSKENグループ」「北陸電話工事グループ」とし、報告セグメントに加えております。なお、同3社グループは前期実績との比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形・完成工事未収入金等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ239億3千万円減少し4,159億8千万円、負債は、支払手形・工事未払金等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ230億8千万円減少し1,153億7千万円となっております。

また、純資産は、その他有価証券評価差額金の減少等により前連結会計年度末に比べ8億4千万円減少し、3,006億円となりました。

この結果、自己資本比率は71.6%（前連結会計年度末は67.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、2019年5月10日に発表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	28,618	50,642
受取手形・完成工事未収入金等	169,186	106,681
未成工事支出金等	28,983	36,584
その他のたな卸資産	4,576	5,394
その他	15,783	23,481
貸倒引当金	△136	△89
流動資産合計	247,013	222,696
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	41,847	41,434
土地	65,748	66,101
その他（純額）	28,148	28,528
有形固定資産合計	135,744	136,064
無形固定資産		
のれん	4,999	4,725
その他	4,606	4,397
無形固定資産合計	9,606	9,123
投資その他の資産		
投資有価証券	27,712	28,061
その他	20,205	20,404
貸倒引当金	△356	△363
投資その他の資産合計	47,561	48,102
固定資産合計	192,912	193,291
資産合計	439,926	415,987

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	77,685	58,264
短期借入金	8,543	8,412
未払法人税等	6,017	861
未成工事受入金	4,045	5,486
引当金	1,251	1,173
その他	18,583	18,942
流動負債合計	116,125	93,140
固定負債		
長期借入金	3,212	3,020
再評価に係る繰延税金負債	1,369	1,369
退職給付に係る負債	13,508	13,488
役員退職慰労引当金	622	541
その他	3,628	3,818
固定負債合計	22,340	22,238
負債合計	138,466	115,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	91,549	92,064
利益剰余金	223,261	222,910
自己株式	△20,539	△20,673
株主資本合計	304,271	304,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,810	2,076
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	△7,905	△7,905
退職給付に係る調整累計額	△802	△818
その他の包括利益累計額合計	△5,898	△6,648
新株予約権	657	533
非支配株主持分	2,428	2,422
純資産合計	301,459	300,609
負債純資産合計	439,926	415,987

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	82,270	111,906
売上原価	72,236	98,207
売上総利益	10,034	13,699
販売費及び一般管理費	5,990	8,723
営業利益	4,043	4,976
営業外収益		
受取利息	8	6
受取配当金	149	412
固定資産賃貸料	46	86
その他	44	110
営業外収益合計	248	615
営業外費用		
支払利息	1	14
賃貸費用	23	51
遊休資産費用	9	5
その他	8	8
営業外費用合計	43	79
経常利益	4,248	5,511
特別利益		
固定資産売却益	5	18
その他	0	15
特別利益合計	5	33
特別損失		
固定資産除却損	11	9
投資有価証券評価損	2	15
特別退職金	—	23
損害賠償金	5	—
その他	5	10
特別損失合計	26	58
税金等調整前四半期純利益	4,228	5,486
法人税等	1,451	1,974
四半期純利益	2,776	3,511
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,785	3,509

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,776	3,511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	650	△729
繰延ヘッジ損益	—	△0
退職給付に係る調整額	△43	△15
その他の包括利益合計	607	△744
四半期包括利益	3,383	2,767
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,391	2,759
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結会計期間末における資本剰余金の残高は、前連結会計年度末より515百万円増加し、92,064百万円となっております。また、自己株式の残高は、前連結会計年度末より134百万円増加し、20,673百万円となっております。これらの主な要因は、以下のとおりであります。

① 株式交換

当社は2019年4月1日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、北有建設株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換、当社を株式交換完全親会社、北興産業株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を各々実施し、自己株式383千株を交付いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が517百万円増加し、自己株式が639百万円減少しております。

② 自己株式の取得

当社は2019年5月10日開催の取締役会の決議に基づき、2019年5月13日から2019年6月30日までの期間に自己株式414千株を取得しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,097百万円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、当第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。